

学年	1	コース名	スタンダード
----	---	------	--------

教科名称	国語	科目名	現代の国語
------	----	-----	-------

単位数	2		
-----	---	--	--

使用教科書等	数研	高等学校	現代の国語
--------	----	------	-------

副教材等	数研出版	プレミアムカラー国語便覧
	数研出版	高等学校 現代の国語
	尚文出版	常用漢字ダブルクリア 五訂版

学習目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	7	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	7	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	6	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
社会と文化	/	○	○																																	
実用の文章(表現の工夫)	/			○	○	○																														
実用の文章(解決策の発表)	/						○	○	○	○	○																									
意見を述べる	/														○	○	○																			
実用の文章(提案する・聞く)	/															○	○	○																		
環境と科学	/																					○	○													
実用の文章(提案書を書く)	/																						○													
言語技術の実践レポート	/																						○	○												
人間と時間	/																								○	○										
認識の枠組み	/																												○	○	○	○				

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	国語	科目名	言語文化
単位数	2		

使用教科書等	数研	高等学校 言語文化
副教材等	数研出版 数研出版 数研出版 数研出版	プレミアムカラー国語便覧 九訂版 読解を大切にする 体系古典文法 高等学校 言語文化 三訂版 読解をたいせつにする体系古典文法学習ノート

学習目標 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	8	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	7	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	5	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月							
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬								
受け継がれる古文	○	○	○																																						
古文の世界を楽しむ				○	○	○	○																																		
日本語の中に生きる漢文								○	○																																
語感を磨く															○	○	○																								
先人を思う旅																		○	○	○																					
和歌による心の交流																					○	○	○																		
故事と成語																						○	○																		
漢詩のことば																																									
仮名日記文学の原点																												○	○	○											
詩歌の系譜																																						○	○		

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	地理歴史	科目名	地理総合
単位数	2		
使用教科書等	帝国	高等学校	新地理総合
副教材等	帝国書院		新詳地理資料COMPLETE2024

学習目標 地理的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。中学校社会科における学習の成果を生かし、諸資料の検証や考察の表現を通じて、近代化や国際化などの変化を地理的に捉える能力の育成を目指す。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	2	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	2	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
地図と地理情報システム	/	○	○							/	/	/												/	/												
結びつきを深める現代世界	/			○	○	○							/	/	/									/	/												
生活文化の多様性と国際理解	/						○	○	○	○	○					○	○	○	○	○																	
地球的課題と国際協力	/																				○	○	○	○													
自然環境と防災	/																							/	○	○	○										
生活圏の調査と地域の展望	/																							/				○	○	○							

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	理科	科目名	化学基礎
単位数	2		
使用教科書等	実教	高校化学基礎	
副教材等	実教出版	高校化学基礎 カラーノート 改訂版	

学習目標

- ・自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な理念、原理、法則を理解すること。
- ・実験や観察を通して、科学的な自然観を身につけること。
- ・物質をよく知るにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断を下すことができるようになること。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	5	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	3	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	2	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
物質の構成	/	○	○	○																																
物質と化学結合	/				○	○	○																													
原子量・分子量	/							○	○																											
物質質量・濃度	/									○	○						○	○																		
化学反応式	/																	○	○	○																
酸と塩基	/																				○	○	○	○	○											
酸化還元反応	/																								○			○	○							
酸化還元的应用	/																														○	○	○	○		

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	保健体育	科目名	保健
単位数	1		

使用教科書等	大修館	現代高等保健体育
副教材等	大修館書店 大修館書店	デジタル版ステップアップ高校スポーツ(アプリ版) 現代高等保健体育ノート

学習目標 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	5	定期考査、課題発表、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	2	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	3	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元 現代社会と健康 安全な社会生活	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1-9、喫煙と健康																								
1-10、飲酒と健康																								
1-11、薬物乱用と健康																								
1-12、精神疾患の特徴																								
1-13、精神疾患の予防																								
1-14、精神疾患からの回復																								
2-4、応急手当の意義とその基本																								
2-5、日常的な応急手当																								
2-6、心肺蘇生法																								
1-1、健康の考え方や成り立ち																								
1-2、私たちの健康のすがた																								
1-3、生活習慣病の予防と回復																								
1-4、がんの原因と予防																								
1-5、がんの治療と回復																								
1-6、運動と健康																								
1-7、食事と健康																								
1-8、休養・睡眠と健康																								
1-15、現代の感染症																								
1-16、感染症の予防																								
1-17、性感染症・エイズとその予防																								
2-1、事故の現状と発生原因																								
2-2、安全な社会の形成																								
2-3、交通における安全																								

※9月から10月上旬までは課題発表学習を実施

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	芸術	科目名	美術 I
単位数	2		
使用教科書等	光村	美術1	

副教材等

学習目標 美術の幅広い創作活動を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美的体験を豊かにし、感性を高め、美術文化についての理解を深めることを目指す。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	1	授業中の提出課題、授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	1	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
素描	/	○	○	○	○	○							/	/	/										/	/	/											
絵画	/									○	○	○	○	○													/	/	/									
造形	/															○	○	○	○	○							/	/	/									
デザイン	/																					○	○	○	○	○	/	/	/									
版画	/																											/	○	○	○	○	○	○	/	/	/	

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	芸術	科目名	書道 I
単位数	2		
使用教科書等	光村	書 I	

副教材等

学習目標 書道の幅広い臨書・創作活動を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美的体験を豊かにし、感性を高め、書道文化についての理解を深めることを目指す。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	1	授業中の提出課題、授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	1	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
書へのいざない	/	○																																		
名札の制作	/		○	○	○																															
楷書の学習1	/					○	○	○	○																											
ペン習字	/								○	○																										
楷書の学習2(刻字)	/														○	○	○	○																		
行書の学習	/																		○	○	○	○	○	○												
仮名の学習	/																										○	○	○							
仮名の書の創作	/																															○	○	○		

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	外国語	科目名	英語コミュニケーション I
単位数	3		

使用教科書等	啓林館	LANDMARK Fit English Communication I
副教材等	東京書籍 啓林館	フェイバリット英単語・熟語 コーパス3000 4th Edition LANDMARK Fit English Communication I WORKBOOK

学習目標 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の複数の領域を結び付けて統合した言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりすることができるようになる。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	4	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	4	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	3	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月						
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬							
Lesson1	/	○	○	○								/	/	/										/	/									/	/					
Lesson2	/				○	○	○					/	/	/											/	/									/	/				
Lesson3	/							○	○	○			/	/	/										/	/										/	/			
Lesson4	/									○		/	/	/		○	○	○							/	/										/	/			
Lesson5	/											/	/	/		○	○	○	○						/	/										/	/			
Lesson6	/											/	/	/										○	○	○	○	/	/							/	/			
Lesson7	/											/	/	/											○	○	/	/		○	○					/	/			
Lesson8	/											/	/	/											/	/					○	○	○	○	/	/		/	/	

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	外国語	科目名	論理・表現 I
単位数	2		
使用教科書等	三省堂	MY WAY Logic and Expression I	
副教材等	三省堂	MY WAY Logic and Expression I サブノート	

学習目標 英文法や英語の論理展開、日本語との違いを理解し、表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。様々な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」を中心とした発信能力をはぐくみ、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	3	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業や活動への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	3	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	4	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
Lesson 1	/	○	○	○								/	/	/											/	/									/	/		
Lesson 2	/			○	○	○						/	/	/												/	/									/	/	
Lesson 3	/					○	○	○				/	/	/												/	/									/	/	
Lesson 4	/							○	○	○			/	/	/											/	/									/	/	
Lesson 5	/									○	○			/	/	○	○									/	/									/	/	
Lesson 6	/											/	/	/			○	○	○							/	/									/	/	
Lesson 7	/											/	/	/					○	○	○					/	/									/	/	
Lesson 8	/											/	/	/							○	○	○			/	/									/	/	
Lesson 9	/											/	/	/									○			/	/	○	○	○						/	/	
Lesson 10	/											/	/	/											/	/				○	○	○	○			/	/	

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	家庭	科目名	家庭基礎
単位数	2		
使用教科書等	東書	家庭基礎	自立・共生・創造

副教材等

学習目標 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養い、生活を創造する力に繋げる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	5	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ファイル、プリント等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	3	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	4	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
人生設計	/	○																																			
経済生活を営む	/		○	○	○	○	○	○																													
家族・家庭をみつめる	/							○									○																				
子どもと共に育つ	/							○								○	○	○																			
高齢社会を生きる	/								○						○																						
衣生活をつくる	/																		○	○	○	○															
住生活をつくる	/																							○	○			○									
防災に備える	/																										○	○									
食生活をつくる	/																											○	○	○	○						
持続可能な生活を営む	/																															○	○				

学年	1	コース名	スタンダード
教科名称	情報	科目名	情報 I
単位数	2		
使用教科書等	東書	新編情報 I	
副教材等	東京書籍	新編情報 I 資料ノート	

学習目標 情報の特徴と情報化の社会に及ぼす影響を理解し、コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能の習得する。情報を主体的に活用しようとする態度を身につける。

観点別評価	観点	重み	評価
	(Ⅰ)知識・技能	1	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(Ⅱ)思考・判断・表現	1	
	(Ⅲ)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
情報で問題を解決する	/	○	○						/	/	/							/						/
情報を伝える	/			○	○	○			/	/	/							/						/
情報を伝える(日本語ワープロソフトの操作)	/					○	○	○	/	/	/							/						/
コンピュータを活用する	/							/	/	/	○	○	○					/						/
コンピュータを活用する(表計算ソフトの操作)	/							/	/	/			○	○	○	○	○	/						/
データを活用する(プログラムの基本構造1)	/							/	/	/								/	○	○	○			/
データを活用する(プログラムの基本構造2)	/							/	/	/								/				○	○	/